

## 6. 重点分野の設定について

### (1) 循環器疾患

死因別死亡数は、過去 5 年間に於いて、心疾患は 2 位、脳血管疾患は 3 位、4 位になっており、40 代から増加していく。

国の基準による標準化死亡比では、平成 20 年～24 年は、心疾患の男性、また、脳血管疾患のうち、脳内出血の男女が基準より高く、平成 15 年～19 年は、心不全の男性、女性、脳内出血の男女が基準より高い。平成 10 年～14 年は、心疾患総数の女性、急性心筋梗塞の男女が基準より高いことから、過去 15 年間にわたって、循環器疾患による死亡の基準値が高い特徴がある。

東京都との比較では、人口 10 万人対死亡率について、脳血管疾患が 24 年、25 年と東京都の数値より高い。

東京都基準の標準化死亡比においても、平成 24 年度心疾患の女性、脳血管疾患の男女ともに基準より高い。

東京都内 26 市の比較では、平成 20～24 年までの人口 10 万人対死亡率において、心疾患総数の男性が 6 位、脳内出血の女性が 6 位と相対的に高い。以上の点を考慮し、小平市では、循環器疾患を重点分野とし、循環器疾患の発症をふやす危険因子を排除する生活習慣の普及を重点取り組みとする。